

単元名: 早く元気になって!

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書名(対応)	-
話題分野	からだと健康	言語レベル	2	必要時間数	6時間

I 単元目標

病人のお見舞いにおける日韓の文化的異同について学び、韓国人の友だちや知人が入院したことを想定して「喜ばれるお見舞いマニュアル」を作ることができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> ◆適切な表現を使ってお見舞いのロールプレイをすることができる。 ◆韓国の病院のHPを読むことができる。 ◆お見舞いのメッセージカードを書くことができる。 ◆日韓のお見舞い事情の差や、実際にお見舞いに行った様子をレポートにまとめることができる。 ◆慰めや元気つける言葉をかけることができる。(コミュニケーション・ストラテジー) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆その国のルールや慣習を踏まえてお見舞いをすることができる。 ◆お見舞いに関する文化の違いに気づき、自分の属する文化と比較することができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆人間と病気について考えることができる。(知識理解)。 ◆近代社会における医療システムの現状と役割について考えることができる。(知識理解) ◆日韓のお見舞い文化について調べ、グループで話し合い、お見舞いマニュアルを作成することができる。(協働) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。

<p>コミュニケーション能力指標</p>	<p>【からだと健康】 2-a. 病院の案内図を見て、自分が受診したい科の場所を、見つけることができる。 2-b. 他人や以前の自分と比較しながら、いまの体型やからだの部位の特徴について、会話できる。 2-d. 病状(風邪をひいた、おなかや頭が痛い、熱がある、咳が出るなど)について、口頭で説明したり、尋ねたりできる。 2-f. お見舞いの決まり文句を、口頭でまたは書いて伝えることができる。 2-g. 口頭のまたは書かれたお見舞いの決まり文句を理解できたり、自分の回復状況を口頭でまたは書いて伝えたりできる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。</p>
----------------------	---

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> ◆部位と症状、処置法のマッチングをする。(理解度) ◆お見舞いの決まり文句を使ってメッセージカードを作る。(表現や表記の正確さ、気持ちの伝え方、カードの書き方の工夫) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実際にお見舞いに行くという想定でロールプレイする。(相手への配慮、気持ちの伝え方の工夫、表現の適切さ、発音の正確さ) ◆「喜ばれるお見舞いマニュアル」を作成する。(文化的違いの比較や考察を反映したか、分かりやすさ、表現の適切さ)

III 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆最近病院にいったことはあるか、あればなぜ行ったのか、どんな治療を受けたのかについて話しあい、不調を訴える体の部位と症状、処置法のマッチングをする。【2-d】</p> <p>◆病院の案内図をHPからダウンロードして、どんなときに何科に行くか、症状にあった診療科の名称を学習する。見舞いに行くのに必要な院内表示についても学習する。【2-a】</p> <p>◆見舞いにいったらどんな言葉をかけるか、みんなで考え、韓国語に直してメッセージカードに書いてみる。【2-f】</p> <p>◆お見舞いの決まり文句を使って患者と見舞客に分かれてロールプレイする。【2-g】</p> <p>★【 内】は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> N高校の韓国語のクラスでは、韓国の友だちや知人が入院したことを想定して「喜ばれるお見舞いマニュアル」を作ることになった。</p> <p><活動の流れ> 病気になるとはどういうことか、病気になった本人や家族の気持ちについて考え、病人を元気づける方法について、グループで話あう。 入院している診療科ごとに予想される症状と具合の悪い部位が一目でわかるような一覧表をつくる。どんな言葉かけるのか、手土産はもっていくのか、もっていくとしたら何を持っていくのかなど、お見舞いのしかたについて日韓の場合をそれぞれ調べて比較し、日本語でまとめる。日韓で忌避される行為についても考え、比較し、その背景にある要因について調べる。それらの結果を「喜ばれるお見舞いマニュアル」に書く。 実際にお見舞いはどのようにしたら相手に喜ばれるか話し合い、想定されるやりとりの韓国語会話を作ってロールプレイしてみる。これらの想定やりとり会話集や体の部位名称一覧、病院の代表的な施設や看板表示を紹介した写真や手土産の見本写真なども載せて、マニュアルを完成させる。マニュアルを韓国からの留学生などに読んでもらい、コメントをもらって、不適切なところを修正する。</p> <p>ヒント☞ ◆日本に住んでいる韓国の人で日本の病院に入院した経験があれば、違和感を感じたことや発見したことなどについて話してもらおう。それらの話を調べた知識と総合させて日本に住んでいる韓国語母語話者の人たちのための「日本で入院マニュアル」を作る活動してもよい。 ◆実際に日本に住んでいる韓国語母語話者の人がたくさん入っている病院や介護施設などを訪ねて、お見舞いを実践してみよう。</p>	
<p><使用教材・教具> 病院のHP、「暮らしのマナー集」「家庭の医学」などの本</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 살이 많이 빠졌어요. / 좀 열이 있고 기침도 나요. / 에 걸린 것 같아요. / 꼭 쉬세요. / 몸 조리 잘하세요. / 인대가 끊어졌는데 지금은 많이 나아졌습니다. / 당분간 운동을 하지 마세요. / 침대에 누우세요. / 주스를 마실 수 있나요? / 와주셔서 고마워요.</p> <p><表現のポイント> —네요. /—아·어졌어요. /—니·는·은 것 같아요. /—나요? /—르·을 수 있다 /—는데 /—보다 /—고 /—지 말다 / 꼭—</p>	<p>部位と症状(허리가 아프다, 뼈가 부러지다, 수술하다, 쓰러지다, 다리를 다치다)、診療科(내과, 외과, 성형외과, 산부인과)、慰める表現(낯다, 식욕이 돌아 오다, 얼굴에 살이 붙었다, 열이 내리다, 안색이 안 좋다)、見舞いの品(봉투, 꽃다발, 화초, 국화, 백합, 냄새가 강하다)</p>	<p><事象> ◆お見舞いの仕方 ◆韓国の病院の役割</p> <p><事象のポイント> ◆言語や文化によって、慰めや元気づける言葉、苦痛や不満を訴える患者とのやりとりの仕方、お見舞いの作法が異なる。それについて知り、適切に対処する方法を考える。 ◆韓国では病院で葬式をあげるという事象の背景について考える。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繫		他教科の内容との連繫
<p>病院、医療施設(介護施設、保養施設も含む) 生花店、韓国の生活情報サイト(そうるなび、コネストなど)、韓国での体験談をつづったエッセイ、地域にすむ韓国語母語話者、日本での入院体験をつづった外国人のエッセイ</p>		<p>保健体育、家庭科</p>